

ぽかぽか 初夏号

三川町公民館図書室だより

2024.6.1



たくさんの新着本が入りました。

ぜひ、お立ち寄りください。



『人間標本』
湊かなえ：著

蝶の目に映る世界を欲した私は、ある日天啓を受ける。あの美しい少年たちは蝶なのだ。その輝きは標本になっても色あせることはない。五体目の標本が完成した時には大きな達成感を得たが、再び飢餓感が膨れ上がる。今こそ最高傑作を完成させるべきだ。果たしてそれは誰の標本か。デビュー15周年記念書下ろし作品。



『spring』
恩田陸：著



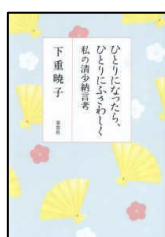
『ジェンダー・クライム』
天童荒太：著



『もう明日が待っている』
鈴木おさむ：著



『リラの花咲くけものみち』
藤岡陽子：著



『ひとりになったら、ひとりにふさわしく私の清少納言考』
下重暁子：著



『静かに退職する若者たち』
金間大介：著



『冬に子供が生まれる』
佐藤正午：著



『犬がそばにいてくれたから』
三浦健太：著



『あなたの言葉を』
辻村深月：著



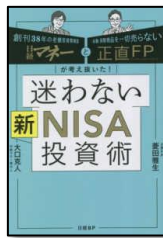
『太陽の子』
三浦英之：著



『女の国会』
新川帆立：著



『国民の違和感は9割正しい』
堤 末果：著



『迷わない新NISA投資術』
菱田雅生：著



『じい散歩 妻の反乱』
藤野千夜：著

多くのメディアで紹介されて注目を浴びた『じい散歩』、待望の続編！前作からさらに歳を重ね、夫婦あわせて180歳を超えた新平と英子。3人の独身中年息子たちは相変わらずで、自宅介護が必要になった母親の面倒を見る気配もない。果たして、老夫婦の道のりは？そして、妻の「反乱」とは？身につまされながらもどこか可らしい、明石家のその後を描いた家族小説。

☆人気作家『はらぺこめがね』のえほん☆



『チキンライス
がいく。』



『フルーツポンチ』



『すきやき』

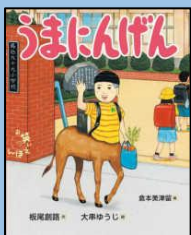


『やきそばばんばん』



『みんなのいちにち』
たけうちちひろ作

あさ6じ。おさんぽに
いくひと、まだねている
ひと、みんなのいちにち
はそれぞれ。パンやさん、
とこやさん、えかきのお
ねえさん、みんなのいち
にち、どんなかな。みんな
のいちにち、みてみよう。

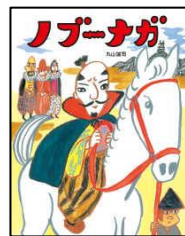


『うまにんげん』
板尾創路：作

ぼくの名前はケンタ。
なぜ、こんなすがたにな
ったかって？ ある日、
猛スピードで走ってきた
子馬とぶつかったんだ。
最初は嫌だったけど…。
奇才・板尾創路の独特な
世界！



『おまえうまそう』
だなさよなら
ウマソウ
宮西達也：作



『ノブ~ナガ』
丸山誠司：作



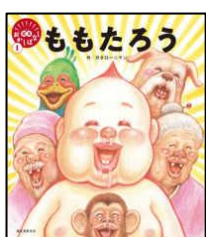
『学校ななふしぎ』
齊藤洋：作

ガタロー☆マンの
えほんはいりました！

♪ 竹下文子の『のりものおはなし絵本シリーズ』♪



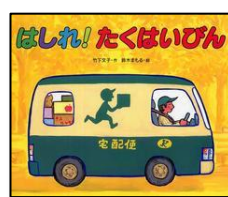
『おだんごどん』



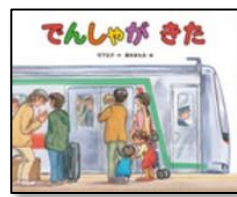
『ももたろう』



『ぐいーん！こう
しよさぎようしゃ』



『はしれ！たく
はいびん』



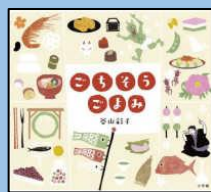
『でんしゃがきた』



『おおきなかぶ〜』



『てぶ〜くろ』



『ごちそうごよみ』
谷山彩子作

お正月にはおせち料理、ひな
祭りには菱餅やひなあられ、とい
う風に、行事の日にはごちそうが
つき物です。この絵本では、1月
から12月の順番で日本で親しま
れている行事を取り上げ、それぞ
れの日になにが食べられるのか、そ
のごちそうの意味は何なのか、軽
妙なイラストとともに楽しく紹
介します。